2025年10月 ナんぱくものしりシ-されてい 民俗 — No. 3 1





そうです。みずきだんごは小 正 月の 行 事よ。 正 月には、元日を 中 心にした ***しょうがつ がつ にち ちゅうしん こしょうがつ おおしょうがつ としがみさま せんぞ大 正 月と 1月15日を 中 心にした小 正 月があるの。大 正 月は年神様やご先祖



じゃあ、このみずきだんごは豊作を願う行事?



そのとおり! その年の米、粟(①)、まゆなどの作物の出来が良くなるように という願いを込めて行われます。ところで、ふたりは、まゆって何かわかる?





知ってる! まゆは、カイコガというガの幼虫がさなぎになる時に くち いと は だ 口から糸を吐き出してつくったものだよね。絹糸の原 料 だよね。





そういえば、岩手県では昔から、カイコを飼ってまゆを採る農家が多くあった と聞いたことがあるわ。このまゆがたくさんできることも祈っているのね。



ふたりとも詳しいわね。ところで、今、ふたりが見ているみ ずきだんごは、雫 石地方(★)のもので、これを「オカザリ」 といいます。では、このオカザリを例にみていきましょう。



こんなふうに 俵 にみずきだんごや色々な 形 のもちをさして、常 居 (今のリビング) のグルーム) の梁 (屋根を支える木) から下げます。









【①アワボ】

【②ホニオ】

【③ゼニ

【①アワボ】丸い粟もちを柳の先端につけたもの。

【②ホニオ】1本のわらに小さいもちを 10値くらいつけて、それを 12本にまとめたもの。

【③ゼニ】大小のもちを交互に縄でつけたもの。

【④みずきだんご】①~③以外。みずきの枝に赤や白のもちをつけたもの。「みずき=水木」に通じることから、火事にならないようにとか、田畑の水が枯れないようにという願いがこめられている。

※②~④のもちは、 葉に米粉



「オカザリ」を飾る期間はいつからいつまで?



1月15日の夜に作り、16日の朝から20日の朝まで飾ります。



ゕ゙゚゙ 飾った後は、どうするの?



きちんとした決まりはないんだけど、20日の朝 食 の後、アワボなどをカマ(で切り落とす地方が多いわ。外したもちは焼くなどして食べたそうよ。





へぇー。面白いね。冬休みの自由研 究 でこの 行 事を調べてみようかな。

|トントルよう まんこう| もりぐち たり 1980年『民俗の四季』/岩手県立博物館 2001年『これなあに? 民俗―38』他

- ●「けんぱくものしりシート」の内容は ^{なっうさり} 発行当時のものです。
- ●「けんぱくものしりシート」は解説賞が 執筆しております。



けんぱくものしりシート 『**オカザリ**』

2025 年 10 月発行 民俗—No.31

■参考文献

- ・森口多里 1980 年『民俗の四季』
- · 岩手県立博物館 2001 年『これなあに? 民俗-38 オカザリ』
- ・岩手県立博物館 1985 年『ひとつの資料から 民俗-46 おかざり(みずきだんご)』
- ・岩手県立博物館 1987 年『ひとつの資料から 民俗-70 小正月のおかざり』
- ・小形信夫 金野静一 1984 年 『岩手県文化財普及シリーズ その3岩手の年中行事―ふるさとの民俗 歳時記―』